世界の言語、文化、社会等を学ぶのに教科書では飽き足らない方に

世界の今を彩る言語、文化、社会と歴史

欧米と日本での永い研究・教育経験を基に、世界の言語や社会や文化、その背後にある歴史について紹介し、そこから私たちの地域社会についても一緒に考えます。例えば、言語消失とは何か。手話とは何か。ベルリンの壁崩壊とEU（ヨーロッパ連合）の進展。ピカソの絵画「ゲルニカ」とスペイン・バスク地方の自治。

星　宏人 教授

●出張講義分野
世界の言語、文化、社会、歴史

●研究分野のキーワード
文法、意味、言語運用（語用）

●専門分野
言語学、英語学

大学ではこんなことを研究しています

文法性判断等のプロセスを適切に捉えるために、ヒトの言語運用に注目し、ヒトが心の中に順次どのように統語・意味構造を創り出しているのかを研究しています。さらにヒトの文法性判断は一つの言語運用であるため、言語運用を捨象して研究する生成文法理論等はヒトの文法性判断を根本的に説明できないと論じています。

先生からメッセージ

言語、文化、社会、歴史を横断的に考察することにより経験することのできる発見や驚きや感動が受講生の物事の理解を深め、応用する力を養うことに役立ち、自分から色々な問題に取り組む力をつけるためのヒントとなればと考えています。高校での教育科目の枠組みにとらわれず、変化に富む切り口で実例を基に参加者のもっと知りたいという気持ちを刺激できればと思います。

略歴　米国コネチカット州立大学大学院言語学科博士課程修了。PhD（Linguistics）。英国ロンドン大学東洋アフリカ研究学院(SOAS)Lecturer、スペインバスク大学文献・地理・歴史学部Visiting Professor、秋田大学教育文化学部教授（附属中学校長兼務）を経て、2025年4月より現職。秋田大学名誉教授。